

## 今年も続くのか、いつまで続く新型コロナウイルス

大阪市立大学大学院工学研究科 小島 誠也

令和3年度がスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続き、なかなか学会等で皆さんにお会いできないのが残念です。筆者はワクチン接種をしましたが、2回とも熱が発生せず、学生からは「効いてないんじゃないの」と言われる始末です。ワクチン接種により感染者が減少することを期待していますが、本稿を書いている時点では、感染者がまだまだ増加しています。まだまだワクチン接種者が少ないのかと思います。ニュースレターが発行される頃には感染者が減少していることを祈っています。

さて、本年度の有機結晶シンポジウムは対面で実施できませんが、部会長の吉岡直樹先生を実行委員長としてオンラインで開催されることになりました。オリンピックはどうなることかと思っていたのですが、何とか無事終わり、オリンピック自体で大きなクラスターが発生したという話は聞きませんでした。このような状況でのオリンピックの開催経験は初めてのことで、後世に残る実体験であり、開催しないよりは開催することによって得るものは大きかったであろう。昨年コロナ禍で学会が中止になったり、オンラインで開催されるようになったりしました。これまで経験したことのないことでしたが、すぐさまオンライン学会に慣れてきました。ただし、オンラインで顔を合わせるよりは対面でのディスカッションは重要ですし、対面での懇親会がないのは残念です。大学の授業もオンラインが続いていますが、学生の評判も二極化しているようです。オンラインでは集中して授業を聞けずわかりにくいという意見と、オンデマンドの動画を何度も見ることができるので非常に良いという意見です。また、授業での Zoom を利用したオンライン発表会では普段おとなしい学生が上手な発表をしているのに驚かされました。就活もオンラインが取り入れられているようですが、オンライン面接は学生・企業の両者にとって如何なのでしょう。オンライン発表の練習も必要であると実感しています。今年のオンライン有機結晶シンポジウムを楽しみにしています。

様々な会議がオンラインになり、出張がなくなり、空いた時間にふと昔の雑誌の整理をしようと手を伸ばすことがあります。昔の雑誌の中には、装置もあまりそろっていないのによくここまで考えて研究しているなど思うものがあります。そのような記事の中には、研究のネタが隠されていることがあります。『当時はできなかったことが今できる』と気が付けば、研究テーマになってしまいます。ところがたいていの場合、当時の技術ではわからず予想しかできなかったことを現在の技術で調べてみても確かにその予想が正しかったということがほとんどです。昔の先生方が素晴らしいということが良くわかります。しかし、間違った解釈をしている論文に出くわすことがあります。新しい発見の始まりになるかもしれません。リバイバルという言い方になるかもしれませんが、昔に一旦落ち着いた研究テーマであっても、もう一度試みると面白い発見にぶち当たるかもしれません。このような気持ちで古い雑誌や有機結晶部会のニュースレターを今も研究室に置いています。

有機結晶部会では、有機結晶シンポジウムが一大イベントになっていますが、今年は12月に **Pacificchem** が開催されます。**Pacificchem** もオリンピックと同様に一年間の延期となり、対面とオンライン（バーチャル）の両方を取り入れたハイブリッドで開催されます。筆者はハワイには行きたかったのですが、これからの状況が読めなかったのでオンラインで参加・発表することにしました。どれぐらいの方がハワイに行くのかわかりませんが、盛大に開催され無事成功することを望みます。なお、**Pacificchem** の有機結晶部会に関連する主なセッションは、NL46にも紹介されていますが、下記の通りです。プログラム等の詳細は **Pacificchem 2021** のホームページでご確認ください。

環太平洋国際化学会議 2021 (Pacifichem 2021)

開催日：2021年12月16日～21日

開催場所：ハワイ、ホノルル & Virtual

<https://pacifichem.org/>

(#254) Photofunctions of Soft Crystals Constructed with Coordination Compounds

Organizers: Masako Kato, Vivian Wing-Wah Yam, Daniel Leznoff, Kazuyuki Ishii, Miki Hasegawa

(#297) Mechanically Responsive Materials: Bridging the Gap Between Polymers and Crystals

Organizers: Pance Naumov, Timothy White, Atsushi Shishido, Christopher Bardeen

(#302) Aggregation-Induced Emission: Fundamentals and Applications

Organizers: Ben Zhong Tang, Bin Liu, Masaki Shimizu

(#307) Recent Progress in Circularly Polarized Luminescence (CPL) and Related Phenomena: Synthesis and Photophysics

Organizers: Ken-ichi Sugiura, Gilles Muller, Yixiang Cheng, Ben Zhong Tang

(#312) Organic Electronics of Highly-Correlated Molecular Systems

Organizers: Takayoshi Nakamura, Kunio Awaga, Jeremy Michael Rawson, Ren-Gen Xiong, Kathryn Preuss

(#313) Soft Robotics Innovation by Mechanically Responsive Materials

Organizers: Hideko Koshima, Yanlei Yu, Nathalie Katsonis, Shunsuke Nagahama

(#333) Direct Visualization of Chemical and Self-Assembly Processes with High-Resolution Microscopy

Organizers: Koji Harano, Eiichi Nakamura, Li-Jun Wan, Haimei Zheng

(#343) Free Radicals in Biology, Chemical Synthesis and Functional Bio-/Nanomaterials

Organizers: Alex Smirnov, Steven Eric Bottle, Naoki Yoshioka

(#367) Organic Solid-State Chemistry: Advances from Structures to Properties

Organizers: Leonard R. MacGillivray, Masami Sakamoto, Jagadese J. Vittal